



杉三小だより

令和8年10月1日発行

第6号



学校教育目標 すすんで学ぶ 心豊かな たくましい子

面倒だけど楽しい。「余白」について考える。

校長 関口 よし子

現在、国（文部科学省）の審議会等では、次期学習指導要領に向けた話し合いが進められています。そこでは、教育課程の構造化、授業時数の見直しや弾力化、教科書の改善などを通じて、先生と子どもの双方に「余白」を生み出す方向性が示されています。では、この「余白」とは何を指すのでしょうか。「余白」そのものが持つ教育的な意義を見つめ直し、子どもの育ちを支えるために、学校が何に力を入れたらよいのかについて議論が繰り返されています。ある教育雑誌を見ていましたら、「AIが答えをくれる時代だからこそ、教育には『問いを育てる余白』が求められる。子どもの主体性や新たな問いをはぐくむ環境づくりを。待つ環境づくり」というタイトルの記事がありました。非常に共感し、深く考えさせられる内容でしたので、その一部をご紹介します。

（以下、記事より抜粋）

クイズ番組を見ていると、司会者が「答えはCMの後で」と言う場面がよくあります。そのとき、ある小学生が「AIに聞けばクイズの答えなんてすぐわかるのに」と言いました。筆者は思わず「確かにAIならすぐ答えはわかる。でも、CMの間に『答えは〇〇じゃない？』『いや、△△じゃない？』と話しながら待つ時間が楽しいんじゃない？」と返しました。すると子どもは少し考えて、「まあ、確かに。面倒くさいけど、そのほうが楽しいかもね」と言って、手にしていたタブレットを閉じました。

このやりとりから、たった1～2分のCMにもタイパ（タイムパフォーマンス）やコスパを求める子どもの感覚に驚かされました。同時に「面倒だけど楽しい」という言葉からは、まさに余白が生み出す遊びの本質が表れていると感じたのです。

AIは瞬時に答えを教えてください。その便利さは否定できません。しかし、いつの間にか私たちは「早く答えを得ること」そのものを楽しさだと思い込んでしまっているのではないのでしょうか。答えがわからない時間を過ごすこと、友達とあれこれ話し合い、その中から新たな問いが生まれること——。そうした「面倒だけど楽しい」時間こそが、余白に秘められた本来の遊びの姿です。現代の子どもたちは「答えを得る楽しさ」は経験していても、「答えにたどり着くまでの時間を楽しむ」経験は少なくなっているのかもしれない。

子どもは余白の中で遊びを生み出す力を持っています。だからこそ、大人が急いでその余白を予定や活動で埋めなくても、余白を共有しながら見守るだけで、子どもたちは自分で問いを立て、遊びを見つけ始めます。

子どもが動き出すのを「待つ」ことは、決して何もしないことではありません。「この子は何を始めるのだろう」と期待しながら、一緒に楽しむ時間になります。子どもの主体性は「好きにしていよ」と放り出すだけでは育ちません。子どもの力を信じて待つ大人と、「やってみたい」「こうしたらどうなるだろう」と思える環境があってこそ育まれるのです。

学校には仲間がたくさんいます。休み時間と遊ぶ場所があります。AIはすぐに答えをくれます。でも、遊びは「問い」をくれます。そしてその問いは、大人が子どもを信じて待つ「余白」の中から生まれ、子どもが自ら学び始める第一歩につながっていくのです。学校は、子どもが仲間と出会い、余白を共有できる数少ない場所です。だからこそ「子どもを信じて待ち、遊びたくなる環境を整える」という考え方は、学校現場にもそのまま生かすことができます。（抜粋ここまで）

本校でも同じように、日々の授業づくりの中で「問い」や「余白」を大切にする取組を進めています。

これからの授業では、単元（学習のひとまとまり）ごとに「子どもたちにどんな資質や能力を育てたいか」を明確にすることが求められます。そのために、学びの核となる「本質的な問い」を投げかけながら、必要な知識や考え方を組み立てていく、新しい授業構成への改善を進めているところです。

学校生活も今年度の後半（後期）を迎えます。出会った大切な仲間とともに、授業でも休み時間でも「問い」と「余白」を大事にしながら、「自分で考え、判断して行動する」主体性を持った子どもたちを、これからも温かく育てていきたいと改めて思っています。

10月 行事予定

日	曜日	校内行事等	学年別授業時数					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木		5	5	5	6	6	6
2	金	6年生 野口英世記念館による出前授業（4校時） クラブ④	5	5	5	6	6	6
3	土							
4	日							
5	月	ノーメディアデー	4	5	5	5	5	5
6	火	3年生社会科見学 ノーメディアデー委員会⑤	5	5	5	5	6	6
7	水	ICTサポーター来校	5	5	6	6	6	6
8	木	6年修学旅行（会津方面）	5	5	5	6	6	6
9	金	6年修学旅行（会津方面）	5	5	6	6	6	6
10	土							
11	日							
12	月	スポーツの日						
13	火	校内美術展 14:00～16:00	5	5	6	6	6	6
14	水	ロング昼休み（縦割り③） 校内美術展 14:00～16:00	5	5	6	6	6	6
15	木		5	5	5	6	6	6
16	金	クラブ⑤	5	5	5	6	6	6
17	土							
18	日							
19	月		4	5	5	5	5	5
20	火	ICTサポーター来校	5	5	6	6	6	6
21	水	杉戸町学力向上プロジェクト公開授業研究会（杉戸第二小）	4	4	4	4	4	4
22	木	杉戸町学力向上プロジェクト公開授業研究会（泉小）	4	4	4	4	4	4
23	金	就学時健康診断（3時間授業）12:40下校	3	3	3	3	3	3
24	土							
25	日							
26	月		4	5	5	5	5	5
27	火	スクールカウンセラー来校	5	5	6	6	6	6
28	水	杉戸南中学校社会体験学習（1日目）	5	5	6	6	6	6
29	木	4年生社会科見学 杉戸南中学校社会体験学習（2日目）	5	5	5	6	6	6
30	金	杉戸町学力向上プロジェクト公開授業研究会（杉戸南中）	4	4	4	4	4	4
31	土							

■第2学期始業式■



第2学期が始まりました。子どもたちは、立派な態度で始業式に参加していました。実り多い2学期にしていきましょう。

■あいさつ運動■



8月27日（木）～28日（金）は、あいさつ運動を実施しました。夏休み明けでしたが、保護者や地域の皆様の温かな笑顔とお声掛けのおかげで、子どもたちも元気にあいさつをしていました。ご協力ありがとうございました。引続き、本校の子どもたちを見守っていただけましたら幸いです。

■6年生梨づくり体験学習■



8月31日（月）に、6年生が杉戸農業高校に行き、梨づくり体験を行いました。糖度測定や梨の試食をさせていただき、子どもたちは笑顔いっぱいでした。6年生が作業をお手伝いさせていただいた梨は、「杉農梨カレー」として、11月に杉戸町内の小中学校の給食として提供される予定です。

■1年生 CAP プログラム学習■



9月9日（水）は、CAPくれよん様をお招きし、子どもの権利や自身の安全を守ること等について、学習しました。「あんしん、じしん、じゅう」の合言葉や、他者との適切な距離感について、実際に動いてみながらしっかりと学習することができました。